

秋の台風・大雨について

夏の暑さが和らいできたからといって油断できないのが9月から10月の天気です。この時期は秋雨前線や台風による大雨災害がたびたび発生しています。

この時期は、太平洋高気圧の張り出しがしだいに弱まり、台風は、太平洋高気圧の縁辺を回って日本付近に接近することが多くなります。9月は日本周辺海域の水温が一年で最も高く、台風は暖かな海水からエネルギーを得て勢力を落とすことなく日本に接近・上陸しやすくなることもあります。活発な秋雨前線が大雨を降らせ、さらに台風による大雨が降ることもあります。

このように、秋は、台風が日本に近づくことが多く、台風自体も大きく且つ強大に発達しやすいうえ、秋雨前線との相乗効果もあり、大きな災害が起こりやすい季節と言えます。

台風の襲来や大雨の時には地元自治体から避難情報が発せられたら直ちに安全な場所へ避難できるよう準備しておきましょう。自宅の安全性が心配な場合は、悪天になる前により安全な施設や避難所へ逃げる決断をすることも大切です。河川や田畑などの様子を見に行くような行動は非常に危険です。雨水は濁っていることが多く、見えない部分で土砂が削られていて足元をすくわれることがあります。

気象庁では、台風が日本に接近し、影響するおそれがある場合には、台風の位置や強さなどの実況と1時間後の推定値を1時間ごとに発表するとともに、24時間先までの3時間刻みの予報を3時間ごとに発表します。台風の影響が想定される時には最新の情報を入手し早めの対応を心がけてください。

問い合わせ先 網走地方気象台
(電話：0152-43-4349)



網走地方気象台ホームページ



気象庁ホームページ
「台風情報」はこちらから

